

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り
11月
出部小学校
R6.11.14

11月の児童朝礼で子どもたちに話したこと

おはようございます。こうして全校児童が一堂に会して児童朝礼をすることは、教育的価値がある素晴らしいことです。まず、6年生が一番に集合し、素晴らしい集合の仕方を「姿勢」で見せる。他の学年はそれを見て見習って行動する。学校のあるべき姿です。これが学校の伝統となり、学校の力となる。続けていってほしいと思っていたら、今日は4年生が一番に集合し、集合の仕方を「姿勢」で見せてくれていました。伝統が引き継がれているとうれしくなりました。

さて、最近、朝晩は寒くなってきて、寒さに伴い秋の装いが見られます。山の色が変わってきて、冬も近づいてきているようです。南を向くと北向きの山、北を向くと南向きの山が見えます。これからどんどん山の色は変わっていきます。色の変化の違いなど 続けて見ていると面白いですよ。気にして見てみましょう。

あと、空の変化には気が付いていますか。夏の空に比べて変わっていませんか。とっても高いところまで見えませんか。夏よりも今の空は青く見えませんか？

「天高く馬肥ゆる秋」という言葉がありますが、まさに秋の空気は澄み切って、高く青く見えます。では、なぜ、高く見えるのでしょうか？

【理由1】は、高気圧の出身地の違いです。

大雑把に言うと、高気圧は晴れをもたらす、低気圧は雨をもたらします。晴れをもたらす高気圧は、季節によって出身地が違います。夏の高気圧は「太平洋高気圧」といって、海育ちなのに対し、秋の高気圧は「移動性高気圧」といって、大陸育ちです。大陸育ちの高気圧というのは、空気が乾燥していて遠くまで見渡せるのです。また、青や紫など波長が短い光を強く散乱する分子を多く含んでいるので青くみえるのです。

そのため、夏の空よりも青々と見え、高く感じるのです。ちょっと難しいね。

実は春も大陸育ちの高気圧なのですが、花粉や黄砂、ほこりや塵のためくすみ、秋のように青く高い空にならないそうです。

【理由2】は、雲の位置の変化です。

秋は、広く晴れをもたらす移動性高気圧と、雨を降らせる温帯低気圧が交互に通過します。この温帯低気圧の温暖前線は【イワシ雲】や【ウロコ雲】を発生させます。かたまりの雲でなく、小さな雲が多く並んでいるような雲です。今頃よく見えます。

これらは巻積雲（けんせきうん）とよばれ、空の高いところに位置します。雲が高いところにあり、視線の位置が高くなることに加え、雲の下に空が見える割合も大きいので、高く感じられるのです。高く遠くに雲が見えているのですね。秋の空が、高く青く見える理由でした。

ぜひ、季節による周りの自然の変化を感じてみましょう。校長先生の大好きな秋の自然の変化の話でした。

先日の学習発表会では、どの学年も様々な挑戦をして自分自身にとっての実り（成長）を大きく感じたことだと思います。その自信を、学習、生活、学級での活動、学年の行事などで、生かしてほしいと思っています。みんなも行事などを通して変化しています。みんなの変化は成長です。

出部小学校のみんなが「実りの秋」を迎えられるよう応援しています。



読書の秋



スポーツの秋



実りの秋

学習発表会！

10月26日（土）に、学習発表会がありました。子どもたちは、『力を合わせて全力でがんばろう』のスローガンのもと、日ごろの学習の成果を発表しました。全児童が、自分の力をしっかりと発揮した学習発表会になりました。



～学習発表会を終えての感想～

- ・学習発表会では、みんなで心を一つにして合奏や合唱をしたことが心に残りました。なぜなら、みんなで一つのものを作り上げていくことの大切を知ることができたからです。学習発表会で学んだことをこれからのいろいろな生活場面につなげていきたいです。5年生に自分たちの音楽の経験を伝えたいと思いました。（6年）
- ・本番前のみんなの緊張している顔と校歌の合奏が終わった後のやり切った雰囲気心に残りました。6年生にとっては最後の学習発表会だから、最高学年としての覚悟が現れていたと思います。みんなで一つの目標に向かって努力することができたので、これからの学校生活でもみんなで協力し合って学級会や卒業式にこの経験を生かしていきたいです。（6年）

修学旅行

9月18日（水）・19日（木）の2日間の日程で、兵庫・奈良・京都方面に修学旅行に行きました。天候に恵まれ、全員がそろって元気に参加することができました。

キツギア、東大寺、清水寺、金閣寺、太秦映画村…。6年生のみんなにとっては、心に残る思い出がたくさんできました。

